

七



四月二十八日施行



録

陸軍歩兵中佐勲四等金應善外四名
叙勲並勲章加授ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

大正九年四月二十八日
内閣總理大臣原敬

内閣

賞勳局市第一三二號

四月廿八日裁可

大正九年四月廿七日 内閣書記官



賞勳局總裁



重光 旭三 小綏 雙光 計

一一一 二 一 五

佐勳四等金應善外四名
加授ノ件別紙ノ通議定
裁ヲ仰ク

賞勳局

陸軍歩兵中佐勲四等金應善外四名
叙勲並勲章加授ノ件別紙ノ通議定
候條此段允裁ヲ仰ク

賞勲局第一三二號

大正九年四月廿七日 内閣實業

四月廿八日裁可 内閣書記官

内閣總理大臣ノ 賞勲局總裁



陸軍歩兵中佐勲四等金應善外四名
叙勲並勲章加授ノ件別紙ノ通議定
候條此段允裁ヲ仰ク

賞勲局

めくれず

大正九年四月廿六日

賞勳局總裁



書記官



可

返



議定官

否

敘勳並勳章加授議案

陸軍歩兵副領勳四等金應善

外四名

右者王世子李垠殿下、輔翼診療其他

賞勳局

ノ事務ニ從事シ功績アル旨ヲ以テ敘勳ノ件
宮内大臣之ヲ上奏セリ依テ審按スルニ孰
レモ其功績顯著ナリト認ム乃チ勳等及
加授ノ勳章ヲ擬議スル左ノ如シ

作記

作記

官名		位	功	學	氏名
叙勲三等授旭日中綬章	陸軍歩兵副領	六正	四		金應善
授旭日小綬章	李王職贊侍	六正	四		嚴柱日
授旭日重光章	<small>元李王職次官</small>	三從	二		小宮三保松
授旭日小綬章	李王職典醫	五從	四		小山善
授雙光旭日章	<small>宮内省兼官内省翻譯官 朝鮮總督府通譯官李王職御用掛</small>	五從	五		武田尚
					賞勲局
					氏名

陸軍少将章

陸軍少将兵副領勲四等金應善

授旭日中綬章

貝侍正六位勲四等嚴柱日

授旭日小綬章

右者孰レモ王世子殿下東京留學之際、
具、隨從ヲ命セラレ夙ニ輔翼、重任、當
リ勤勞洵ニ勤カラス其ノ功績顕著ニ付
頭書ノ通叙勲相成然ルニシ

元李王職次官
現李王職囑託 從三位勲三等小宮三保松

宮内省

授旭日重光章

李王職典醫從五位勲等小山善

授旭日小綬章

宮内事務次官兼宮内省翻譯官
朝鮮總督府通譯官李王職御用掛 從五位勲五等武田尚

授雙光旭日章

右小宮三保松、明治三十二年韓國併合以來
李王職次官ノ職、在リ大正六年一月依願
退官シタルモ同日更ニ王世子殿下ニ關スル
事務ヲ囑託セラレ小山善ハ李王職典醫トシテ
東京ニ在任シ帝ニ王世子殿下ヲ診療、從

陸軍歩兵副領勲四等金應善

陸軍歩兵副領勲四等金應善
叙勲三等授旭日中綬章

李王職贊侍正六位勲四等嚴柱日
授旭日小綬章

右者孰レモ王世子殿下東京留學之際ニ
具ノ隨從ヲ命セラレ夙ニ輔翼ノ重任ニ當
リ勤勞洵ニ尠カラス其ノ功績顯著ニ付
頭書ノ通叙勲相成然ルニシ

元李王職次官
現李王職囑託 從三位勲三等小宮三保松
宮内省

授旭日重光章
李王職典醫從五位勲等小山善

授旭日小綬章
宮内事務次官兼宮内省翻譯官
朝鮮總督府通譯官李王職御用掛 從五位勲五等武田尚

右小宮三保松ハ明治二十三年韓國併合以來
李王職次官ノ職ニ在リ大正六年一月依願
退官シタルモ同日更ニ王世子殿下ニ關スル
事務ヲ囑託セラレ小山善ハ李王職典醫トシテ
東京ニ在任シ帝ニ王世子殿下ノ診療ニ從

事之武田尚ハ明治四十四年以來李王職
御用掛トシテ王世子邸ハ勤務ニ孰レモ功績
顕著ニ付頭書ノ通叙勲相成然ルヘシ
右謹テ奏ス

大正九年四月二十四日

宮内大臣子爵波多野敬直



宮内省

勲四等

金 應 善

平安南道大州郡吉小面
宮野里三百九十三番地

明治十四年五月二十六日

年	現任	原	賞	職	名	氏	名	氏
明治三十四年					勲四等	金	應	善
明治三十五年					同校卒業			
明治三十六年					同校卒業			
明治三十七年					同校卒業			
明治三十八年					同校卒業			
明治三十九年					同校卒業			
明治四十年					同校卒業			
明治四十一年					同校卒業			
明治四十二年					同校卒業			
明治四十三年					同校卒業			
明治四十四年					同校卒業			
明治四十五年					同校卒業			
明治四十六年					同校卒業			
明治四十七年					同校卒業			
明治四十八年					同校卒業			
明治四十九年					同校卒業			
明治五十年					同校卒業			
明治五十一年					同校卒業			
明治五十二年					同校卒業			
明治五十三年					同校卒業			
明治五十四年					同校卒業			
明治五十五年					同校卒業			
明治五十六年					同校卒業			
明治五十七年					同校卒業			
明治五十八年					同校卒業			
明治五十九年					同校卒業			
明治六十年					同校卒業			
明治六十一年					同校卒業			
明治六十二年					同校卒業			
明治六十三年					同校卒業			
明治六十四年					同校卒業			
明治六十五年					同校卒業			
明治六十六年					同校卒業			
明治六十七年					同校卒業			
明治六十八年					同校卒業			
明治六十九年					同校卒業			
明治七十年					同校卒業			
明治七十一年					同校卒業			
明治七十二年					同校卒業			
明治七十三年					同校卒業			
明治七十四年					同校卒業			
明治七十五年					同校卒業			
明治七十六年					同校卒業			
明治七十七年					同校卒業			
明治七十八年					同校卒業			
明治七十九年					同校卒業			
明治八十年					同校卒業			
明治八十一年					同校卒業			
明治八十二年					同校卒業			
明治八十三年					同校卒業			
明治八十四年					同校卒業			
明治八十五年					同校卒業			
明治八十六年					同校卒業			
明治八十七年					同校卒業			
明治八十八年					同校卒業			
明治八十九年					同校卒業			
明治九十年					同校卒業			
明治九十一年					同校卒業			
明治九十二年					同校卒業			
明治九十三年					同校卒業			
明治九十四年					同校卒業			
明治九十五年					同校卒業			
明治九十六年					同校卒業			
明治九十七年					同校卒業			
明治九十八年					同校卒業			
明治九十九年					同校卒業			
明治一百年					同校卒業			

朝鮮總督府

三十九年	四月一日	日本國皇帝陛下ノ勲三十七年戰役從軍勳章授與	廣勳局
	五月十二日	敘勳六等賜太極章	
	六月十三日	任歩兵少將	
	四月廿四日	賜嘉禮式記念章	
	八月廿六日	軍部官制改正	
	八月廿七日	神階從武官	
	九月廿八日	賜即位禮式記念章	
	十月十八日	日本國皇帝陛下ノ勲五等瑞宝章ノ授與	廣勳局
	十二月廿九日	皇太子殿下日本國留守ノ付隨行	
	十二月廿九日	敘勳四等瑞宝章	廣勳局
	二月廿六日	日本國皇帝陛下ノ勲五等瑞宝章及金三百五十四	
		ヲ賜與セラル	
	三月廿七日	東宮武官ト改稱	
朝鮮總督府			
四十三年	一月廿二日	日本國皇帝陛下ノ勲五等瑞宝章ノ贈與	廣勳局
	四月十八日	日本國皇太子殿下御渡韓記念章ノ賜	
	七月廿四日	軍部官制改正	
	七月廿四日	神宮武官	
	十月廿八日	賜勳四等太極章	
	八月廿九日	日韓條約	
		朝鮮駐劄軍司令官評勝	
	四月廿一日	王世子府武官被仰付	
	四月廿一日	賜二等章	
		在勤加俸ノ旨ノ賜	
大正元年	八月一日	明治四十五年勳章第五十六号ノ旨ノ仰	廣勳局
		併存記念章ノ授與	
二年	五月廿日	賜一等章	廣勳局

三十九年	四月一日	日本國皇陛下、明治三十七年戰役従軍勳章授與	廣魚局
	五月十三日	敘勳六等賜太極章	
	六月十三日	任歩兵少尉	
四十二年	一月廿四日	賜嘉礼式記念章	
	八月廿六日	軍部官制改正	
	八月廿七日	神階從武官	
	九月廿八日	賜即位礼式記念章	
	十月十八日	日本國皇陛下、勳五等瑞宝章ノ權賜授與	廣魚局
	十二月廿九日	皇太子殿下日本國留守ノ付隨行	
四十一年	二月廿六日	敘勳四等賜八卦章 日本國皇陛下、勳五等瑞宝章及金三百五十二	廣魚局
	三月廿七日	東宮武官ト改稱	
朝鮮總督府			
四十三年	一月廿二日	日本國皇陛下、勳五等瑞宝章ノ贈與	廣魚局
	四月十八日	日本國皇太子殿下御渡韓記念章ノ賜	
	七月廿四日	軍部官制改正	
	七月廿四日	神東宮武官	
	十月廿八日	賜勳四等太極章	
四十三年	八月廿九日	日韓條約	
		朝鮮駐劄司令官評議	
四十四年	二月一日	王世子府武官被仰付	
	四月一日	賜二等法	
		在勤加俸ノ旨ノ賜	
大正元年	八月一日	明治三十四年勅令第五十六号ノ旨ニ依リ、韓	
		併存記念章ノ授與セラル	
二年	五月廿日	賜一等法	廣魚局

四年	十一月十日	大正四年勅令第五百十四號 為、依了大禮 記信三郎ヲ破性スルニ	廣勳局
六年	十二月廿五日	任陸軍歩兵副領	
七年	三月十三日	在勤加俸年額千圓ヲ給ス	

朝鮮總督府

勳五等

嚴 柱 日

明治五年十月六日
朝鮮京城道利川郡沙北面道政洞

年	月	日	職名	勳章	備考
明治廿七年	六月		明治法律科卒業		
明治廿八年	七月廿五日		命法部法律起草委員		法部
	八月四日		任平理院判事	叙奉任官四等	今
	十月十四日		依願免本官		
廿九年	十月廿四日		任官内府修序院教官	叙奉任官四等	官内府
四十年	四月十七日		陞六品		
明治四十二年	八月廿六日		大皇帝陛下即位禮式記念章祇受		表勳院
	十月九日		陞正三品		官内府
	十一月廿六日		命皇太子日本國留学時陪從		
	十二月七日		任官内府侍從	叙奉任官四等 給二級俸	
明治四十二年	十二月十七日		日本國勳五等瑞宝章祇受		廣勳局
	十二月廿五日		陞一級俸		官内府
四十二年	四月十六日		日本國皇太子渡韓記念章祇受		廣勳局
	六月廿四日		陞叙奉任官三等 給二級俸		官内府
四十二年	七月廿七日		特叙勳五等賜八卦章		表勳院
	八月廿四日		陞一級俸		官内府
	八月廿七日		陞二品		
	八月廿九日		韓國官内府麻廳一級奉任官		
			改給取返(改給新訓令第十五号)		

位勳賞	學位	府縣族籍	舊籍	原籍	現住所	年號	月日	官記辭令及其他事項	官廳
正四位勳二等				東京府南葛飾郡寺島村士族					司法省
小宮 三保松									司法省
									司法省
						明治九年	七月十九日	法學生徒申付	司法省
						十九年	七月十日	法學全科ノ成績ヲ記シ法律學士ノ稱	司法省
								瓶ヲ授典ス	同
							七月十二日	御用係申付 但准判任月俸四十五圓給典	同
								第三局詰申付	同
							七月十六日	民法局詰申付	同
朝鮮總督府									
						十八年	七月十六日	自今奏任官取扱 月俸五十五圓下賜	司法省
								議事局詰ヲ命ス	同
								民法局急務ヲ命ス	同
						十九年	一月十日	民事局詰ヲ命ス	同
							一月廿八日	本年代言出願人試験委員ヲ命ス	同
							二月十三日	御用係ヲ免ス	同
								法學修業并裁判事務研究ノ為向三	
								ヶ年間歐洲へ派遣ヲ命ス	同
							二月十六日	歐洲留學中為學費一年金千圓給典	同
							三月二日	奉職中餘暇ヲ以テ本省取調御用ニ從	同
								事ニシテ原ヲ以テ報酬金百五十圓給典	同
						廿三年	六月十四日	辭職	同
							七月十七日	判事試補ヲ命ス	同

廿四年	六月八日	免兼官	同	
朝鮮總督府	十月廿一日	叙奏任官四等賜甲級俸(檢事)	司法省	
	十月一日	非職ノ命ス	同	
	十月十八日	陞叙奏任官四等(貴族院書記官)	内閣	
	十月廿一日	叙奏任官五等	同	
	九月廿日	叙任貴族院書記官	内閣	
	六月廿日	東京始審裁判所詰ヲ命ス	同	
	六月廿日	任檢事	同	
	六月廿日	叙奏任官五等	同	
	六月廿日	上級俸下賜	同	
	六月廿日	年俸六百圓下賜	同	
朝鮮總督府	廿五年	八月十二日	任内閣書記官	内閣
	八月十五日	叙正七位	官内省	
	八月十六日	廢官等俸給合 七級俸		
	八月十一日	依願免本官(檢事)	司法省	
	八月十一日	叙奏任官四等	同	
	八月十一日	叙奏任官四等	同	
	八月十一日	叙奏任官四等	同	
	八月十一日	叙奏任官四等	同	
	八月十一日	叙奏任官四等	同	
	八月十一日	叙奏任官四等	同	
朝鮮總督府	廿五年	十一月十五日	任法制局參事官	同
	十一月十五日	七級俸下賜	同	
	十一月十五日	七級俸下賜	同	
朝鮮總督府	廿五年	十一月十六日	第一節勤務ヲ命ス	法制局
	十一月十六日	第一節勤務ヲ命ス	法制局	

めぐれず

廿六年	四月十一日	第二部勤務ヲ命ス	同
	五月十八日	六級俸下賜	内閣
	五月廿三日	依願免本官	同
廿八年	一月廿二日	任檢事	同
		叙高等官六等	同
		七級俸下賜	司法省
		補東京控訴院檢事	同
	七月五日	判事檢事第一回試験委員ヲ命ス	同
		辨護士試験委員ヲ命ス	同
	十月三日	陞叙高等官五等	内閣
	十月廿五日	叙従六位	官内省
廿九年	六月廿二日	判事檢事登用第一回試験委員ヲ命ス	司法省
		明治廿九年辨護士試験委員ヲ命ス	同
朝鮮總督府			
	十一月十日	裁判所及檢事局事務章程調査委員ヲ命ス	同
	十二月十八日	六級俸下賜	同
卅年	七月五日	判事檢事登用第一回試験委員ヲ命ス	同
		明治卅年辨護士試験委員ヲ命ス	同
卅一年	二月九日	法典調査會委員被仰付	内閣
	六月廿八日	五級俸下賜	同
	七月廿日	陞叙高等官四等	同
	七月廿六日	補大審院檢事	司法省
	九月廿日	叙正六位	官内省
	十月廿九日	補東京控訴院檢事	司法省
		三級俸下賜	同
	十月廿日	大審院檢事局事務取扱ヲ命ス	檢事總長
	十二月十九日	補大審院檢事	司法省

廿二年三月十五日御用有之獨澳二國被差遣

三月二十七日二級俸下賜

四月十一日出發

四月十七日勅令港白五等二級俸

九月二十七日司考事務實況調査勉勵二ヶ月金千五

百四ノ賞典下

廿三年六月十三日歸朝

廿三年六月十六日帝室制度調査局御用掛被仰付

七月四日法典調査會委員被仰付

八月二日陸叙高等官三等

十月十日叙從五位

廿五年九月十日陸叙高等官二等

五級俸下賜

朝鮮總督府

十月十日叙正五位

廿六年五月二十日法典調査會委員職ヲ奉シ盡力不

勤カラス依テ銀杯壹組ヲ賜フ

五月二十日除服公仕ヲ命ス

六月十日判事檢事查用第一回試験委員ヲ命ス

翌年六月判事檢事查用第一回試験委員ヲ命ス

廿七年六月八日判事檢事查用第一回試験委員ヲ命ス

明治七年判護士試験委員ヲ命ス

六月二十日叙勳四等授瑞寶章

廿八年六月二日判事檢事查用第一回試験委員ヲ命ス

明治八年判護士試験委員ヲ命ス

四月一日翌年七年戰役際血兵賞一内一金八回寄

附候段寄時ニ候事

内閣
司法省

司法省

宮内省

内閣

同

宮内省

内閣

司法省

宮内省

内閣

司法省

五

左

左

左

内閣

司法省

左

東京府知事

十月十日 四級俸下賜

卅九年六月四日 判事檢事登用並回試驗委員ヲ命ス

明治三十九年 辨護士試驗委員ヲ命ス

十月十日 補會計檢査官並天裁判所豫備檢察官

四十年二月十日 叙勳三等瑞寶章

六月六日 判事檢事登用第一回試驗委員ヲ命ス

明治四十年 辨護士試驗委員ヲ命ス

九月二十日 韓國應聘ヲ許可セラル

叙高等官二等

九月二十八日 判事檢事登用第二回試驗委員ヲ解ク

明治四十年 辨護士試驗委員ヲ解ク

隆熙元年九月三日 命宮内府次官

叙新任官一等

朝鮮總督府

明治四十年九月三日 叙高等官二等

叙俸下賜

隆熙元年十一月八日 命臨時官署有及國有財産調査局臨時委員

明治四十年十月七日 叙從四位

四十二年一月十日 陞叙高等官一等

叙俸下賜

一月三日 命臨時官署有及財産調査局委員

四十二年一月三日 西巡幸時扈從ヲ命ス

四月十日 明治四十二年勅令第四百号ノ旨ニ依リ皇太子殿下

渡韓紀念章ヲ授與セラル

五月五日 水原勸業模範場行啓時扈從ヲ命ス

十月二十九日 宮内府大臣関西遊時並日本國時隨員ヲ命ス

四十三年二月二日 陞叙高等官一等 (檢事)

司法省

全

全

内閣

全

司法省

全

内閣

全

司法省

全

朝鮮總督府

全

全

宮内省

内

内閣

全

全

全

全

全

全

内閣

隆熙三年十月三日特陞賜大極章

明治四十三年三月二十八日高等官一等俸給合致正及又官加俸令公布

四月一日一級俸下賜

五月十六日韓國皇帝陛下ヨリ贈典シテ勳一等大極章

ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

八月二十九日韓國宮内府奏慶ニ付備聘閑件消滅ノ結

果慶官(統監府參典官)

左 必務取扱(統監府訓令第五号ニ依ル)

明治四十三年八月二十八日滿三個月在官ニ付金九百五十大円二十五錢

ヲ給ス

全 十月廿日格別勳劬ニ付金千円ヲ給ス

明治四十四年一月廿一日殘務取扱ヲ解ス(朝鮮總督府訓令第七号ニ依ル)

全 二月一日任李王職次官

朝鮮總督府

全 叙高等官一等

全 賜一級俸

全 在勤加俸二千円下賜

全 叙勳二等後瑞寶章

韓國聯合ニ關シ盡力其功不勤依テ勳二等

瑞寶章ヲ授ケ賜フ

大正元年八月一日明治四十五年勅令第五十六號ニ依リ韓

國聯合ニ關シ勳章ヲ授與セラル

全 四年十月廿日大禮券勅令ノ序ヲ以テ東京ニ出張シ命ス

全 十月十日大正四年勅令第五十四號ニ依リ大禮券勳章

章ヲ授與セラル

全 六年一月十日依願免本官

綿織問仕候被仰付

官内省

官内省

受典局

全

全

全

官内省

官内省

官内省

受典局

大正六年一月五日 昌漢若宮ニ関スル事務ヲ囑託ス 李王職

五月七日 恩給年額金千五百圓

宮内省官吏恩給例ニ依リ前記奥給ヲ

改メヘキコトヲ認メ此ノ證書ヲ付與ス 宮内大臣

一月十五日 特ダクシテ此ノ旨

取送ニ付

朝鮮總督府

従五位勲四等

小山善

東京府平民

萬延元年八月十日

明治十八年一月三十日 東京大學醫學部別科醫學科卒業

全 三十五年十二月三十日 縣下震災ノ節速ニ出張許多負傷者施

療ニ盡力不尠依テ為其賞木杯三組下

賜候事

全 三十九年二月十日 明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ勲六等單

光旭日章及金百五拾圓ヲ授ケ賜フ

賞勲局

明治三十八年十一月三十日 勲四等太極章ヲ授ケ賜フ

韓國表勲院

全 三十九年一月十五日 任統監府技師

叙高等官六等二級俸下賜

統監府

全 年 四月一日 明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ勲五等雙光

旭日章及金貳百五拾圓ヲ授ケ賜フ

賞勲局

全 年 四月十日 叙正七位

宮内府

全 年 十月十三日 大韓醫院創立委員ヲ囑託ス

韓國議政府

全 十一年 三月十五日 大韓醫院治療部長ヲ囑託ス

全 京城博覽會會長

明治四十年 八月一日 京城博覽會顧問ヲ囑託ス

統監府

全 年 十月五日 防疫委員ヲ命ズ

統監府

全 年 十月三十日 任侍從院典醫

韓國宮内府

全 年 十二月十四日 皇太子殿下御赤韓ニ際シ傳染病防遏為

叙奉任官二等

韓國宮内府

左 四十二年	一月一日	兼大韓醫院醫官ニ任ス	統監府
	二月十二日	陞叙高等官五等	内閣
	四月一日	叙従六位	宮内省
左 四十二年	四月七日	一級俸下賜	
左 年	二月五日	皇帝陛下南西巡幸時盡力不尠特ニ銀製 花瓶一個贈與	韓國宮内府
	七月十一日	特叙勲三等賜八卦章	左 表魚院
	七月十四日	東宮陪従ヲ命ス	右 宮内府
	八月十一日	依願免本官	
	八月十四日	滿三年以上在官者金參百四拾九圓九拾 八錢下賜	統監府
	九月十一日	侍醫寮御用裁被仰付	
朝鮮總督府			
		但委任待遇	宮内省
明治四十三年	一月十九日	韓國東宮小田原行啓供奉被仰付	左
左 年	四月一日	職制改正	
	四月十四日	韓國皇帝陛下ヨリ贈與シテ韓國皇帝 陛下南西巡幸紀念章ヲ受領シ及佩 用スルヲ允許ス	賞勲局
	六月三日	韓國東宮山陰山陽行啓供奉被仰付	宮内省
左 四十四年	二月一日	李王職官制ニ定	
左		任李王職典醫	宮内省
		叙高等官五等 賜ニ級俸	同
大正元年	八月一日	明治四十五年勅令第五十六號ニ旨テ韓國併合記 念章ヲ授與セラル	賞勲局
左 二年	十月十日	叙正六位	

從五位勳五等 武田尚

長崎縣士族

長政六年二月十日

長崎縣下縣郡嚴原宮谷町十二番戸

明治六年九月 諸學生トシテ朝鮮釜山留學申付候事外務有

合九年一月十八日 里田特命全權辦理大臣江華島出

張ニ付隨行申付候事

釜山領事館

合 六月 病氣ノ為頷ニ休リ諸學生被免候事同

合十三年三月十二日 朝鮮語學生申付候事

合 釜山留學申付候事

同

合 十月十三日 京城轉駐申付候事

同

合十五年八月九日 當有御用掛申付候事

陸軍省

合 准判任月給金二十五圓下賜候事同

合 參謀本部出勤申付候事

同

合 八月十八日 御用有之朝鮮國、差遣候事

同

合 十月十九日 朝鮮國京城擾亂、除所持品等悉

皆鳥有、歸ニ候ニ付特別ノ譯ヲ

以テ為手當金百五十四圓下賜候事 外務省

合十九年一月十日 御用有之 歸朝申付候事

陸軍省

合 三月八日 任大等屬

同

合 參謀本部付申付候事

同

合 五月十日 任陸軍屬 叙判任官大等

同

合 參謀本部陸軍部付申付

同

全三十年五月十七日	御用有之朝鮮國、差遣ス	同
全三十年	朝鮮京城、在勤致スヘシ	大藏省
全三十一年三月三日	御用有之歸朝申付	陸軍省
全三十年四月十四日	陸軍參謀本部付申付	同
全三十年五月十日	非職申付	同
全三十年十月二日	任郵便局書記 給八級俸	逓信省
全三十年八月十日	任川郵便局在勤ヲ命ス	同
全三十年八月十日	依願免官	同
全三十年八月十日	朝鮮國度支部補佐官トシテ僱聘セラル 但年俸千二百円	同
全三十年二月八日	明治二十八年事件、勞ニ依リ金四十円ヲ賜フ	賞勳局
全三十年七月七日	任葉煙草專賣局屬 給七級俸	大藏省
全三十年七月七日	東京葉煙草專賣局所在勤ヲ命ス	大藏省
全三十年十月三日	給六級俸	左
全三十年	非職、命ス	左
全三十三年四月廿日	官職改正ニ付廢官	左
全三十三年	六月十日 任外務通譯生 給八級俸	外務省
全三十三年	全日 元山領事官城津分館在勤ヲ命ス	左
全三十三年	全日 在勤俸七百円支給	左
全三十三年三月廿日	給七級俸	左
全三十四年五月七日	元山在勤ヲ命ス	左
全三十四年	九月三日 給六級俸	左
全三十七年三月廿日	給五級俸	左
全三十七年	十月五日 任外務書記生 給五級俸	左
全三十七年	全日 元山在勤ヲ命ス	左

朝鮮總督府

全三十九年一月三日	全日	在勤俸七百円支給	左
全三十九年一月三日	任元山理事廳屬	五級俸下賜	統監府
全日	在勤俸年額七百円下賜		左
七月三日	四級俸下賜		左
全四十年九月十七日	任統監府通譯官		内閣
左	叙高等官七等	二級俸下賜	
左	平壤理事廳在勤ヲ命ス		統監府
全三十九年十月三日	叙從七位		宮内省
全三十九年四月一日	叙勳八等授白色桐葉章		賞勳局
全四十二年六月八日	任宮内省翻譯官	賜一級俸	内閣
全四十二年六月八日	大臣房文書課勤務ヲ命ス		宮内省
全三十九年六月十六日	韓國皇太子殿下御用掛被仰付		左
全四十二年六月十八日	兼任統監府通譯官		内閣
全四十二年一月一日	官制改心		
全三十九年六月三日	叙勳七等授瑞寶章		賞勳局
七月三日	叙心七位		宮内省
全三十九年四月一日	明治三十八年從軍記章條例ニ依		
全四十二年七月二十七日	韓國皇帝陛下ヨリ贈其シラル勳四		賞勳局
等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ			
允許ス			左

全四十二年 一月十九日 韓國東宮小田原行啓供奉被仰付 宮内省
全 四月一日 官等俸給令中改正 一級俸 二〇〇 翻譯官

育子曹 叙勳六等 授瑞寶章 賞勳局

育子曹 韓國併合詔書發布付 韓國皇太子

殿下御用掛 消滅

王世子李珉 殿下御用掛 被仰付 宮内大臣

十月一日 兼官廢官

十月七日 宗秩寮兼勤ヲ命ス 全

十月七日 兼任朝鮮總督府通譯官 内閣

叙高等官六等

全四十四年 二月一日 李王職官制ニ定 宮内省
二月一日 李王職 御用掛 被仰付

朝鮮總督府

王世子附ヲ命ス 宮内省

大正元年 八月一日 明治卅五年勅令第五十六号ノ旨依リ 韓國

併合記念章ヲ授其セラル 賞勳局

明治卅四年 六月廿日 陞叙高等官五等(本官)

八月十日 叙從六位 全 内閣

十月十日 陞叙高等官五等(兼官)

官房 秘書課 勤務ヲ命ス

大正二年 九月廿日 任家令 宮内省

叙高等官四等 全

兼任宮内省翻譯官 全

叙高等官五等 全

賜一級俸 全

有栖川宮附ヲ命ス 左

賞勳局

内閣勅 第二九六号

第九一

陸軍歩兵副領勲四等金應善外四名
叙勲上奏書進達不

大正九年四月二十四日

宮内大臣嘉村波多野敬自



内閣總理大臣原敬殿

宮内省

裏面白紙